

科目名	建築製図Ⅱ	英語科目名	Architectural Drawing Ⅱ
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科2年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修
単位数	5	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	尾立弘史 柴田晃宏	居室(もしくは所属)	建築学科棟2階デザインスタジオ内 建築学科棟2階デザインスタジオ内
電話	0285-20-2835 0285-20-2843	E-mail	oryu@oyama-ct.ac.jp khrshbt@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
前期は尾立が後期は柴田が担当する。 前期: 1. 基本的な建築図面の種類と内容を理解させ、 2. 木構造と鉄筋コンクリート造の建築物を中心に、基本的な図面の描き方を修得させる。 後期: 1. ログデザインの課題を通じて、平面構成について理解する。 2. 箱形建築の模型と図面作図、建築製図の基本的な約束事を修得する。 3. 及び実測とその作図を通じて、図面と空間の関係を理解する。 4. 組み立て式の椅子のデザインを通じて、人体寸法と家具寸法との関連及び構造とデザインの間を関係を理解する。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
前期:達成目標1,2 提出する図面の内容により評価する 後期:達成目標1~4 提出する図面及び模型や制作物を設定水準にて評価し、60%以上の成績を達成とする。			
評価方法			
前期:提出作品の計画内容と図面の表現技術により評価する。定期試験は行わない 後期:提出作品の完成度、創造性、表現力などの観点から評価する。試験は行わない。			
授業内容			
<p><前期></p> <p>1. 縮尺と図面表現 ……………1週</p> <p>2. RC造建物の図面のトレース 平面図(2週)、かなばかり図(2週)、立面図、断面図(3週)</p> <p>3. 木造住宅のトレース 平面図(2週)、立面図、矩計詳細図(3週)、構造模型の制作(2週)</p> <p><後期></p> <p>1. 「小山高専のログデザイン」(3週)</p> <p>2. 箱形建築を用いた製図(3週)</p> <p>3. 実測による製図(2週)</p> <p>4. 「組み立て式の椅子のデザイン」(7週)</p>			
キーワード	製図、木構造、鉄筋コンクリート造、椅子、住宅		
教科書	前期:「建築デザインの製図方法から簡単な設計まで」 後期:各課題ごとにプリントを配布する。		
参考書	建築製図に関する書籍、建築家の建築ドローイング集、デザイン雑誌など 安藤直見・柴田晃宏・比護結子「建築のしくみ」(丸善, 2008)		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	--		
JABEE 基準1の(1)との関係	(e)、(h)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図Ⅰ、図学		
現学年の関連科目	建築一般構造		
次年度以降の関連科目	建築設計Ⅰ		
連絡事項	様々な建築図面を見てそれを理解しようとすると共に、建築家のドローイング集やデザイン雑誌などから良いものを吸収して欲しい。デザインは様々な条件を整理して形を探求する過程なので、臆せずあらゆる可能性を試行して下さい。		
シラバス作成年月日	平成22年8月25日		